

ゲストコラム

◎和歌山県内在住の外国の方や、和歌山県を訪れた外国の方に和歌山や出身地についてご紹介いただくコーナーです。今回は、アジア・オセアニア高校生フォーラムの海外参加者の皆さんに、和歌山の印象や出身地の紹介などを語っていただきました。

▶ 韓国 引率教員 Nam Yeol Choi (ナムヨル・チョイ) さんより



国立公園・無等山

出身地の紹介：私が住んでいる光州市は、人口150万人を擁する韓国で5番目に大きな都市です。国立公園・無等山、アジア文化殿堂などがあり、2年に一度の文化イベント・光州ピエンナレが開催されます。また、韓国の食の都としても有名です。



和歌山で印象に残ったこと・出身地との違い：高野山の歴史的建造物や風景は、想像以上に素晴らしかったです。また、日本料理にも韓国料理にも欠かせない醤油の発祥地・湯浅を訪問し、本場の醤油を味わうことができたのも楽しかったです。光州と比べると、和歌山市内には駐車場が多く、路上の違法駐車がほとんどありませんでした。また、自転車に乗っている人も多くみられました。夏の気候については、光州のほうが蒸し暑いと思いました。また、韓国の人々の服装はカラフルですが、和歌山では多くの人が白シャツに黒ズボンという格好をしていました。

メッセージ：若者たちの異文化交流の機会となる今回のフォーラムのような事業は、未来への投資である教育を重視した素晴らしい取り組みだと思います。今回参加された学生の皆さんは、きっと将来国内外で活躍する素晴らしいリーダーとなることでしょう。和歌山県の学生の皆さんには、このような素晴らしいフォーラムが開催される自分の故郷に誇りを持っていただきたいと思います。

▶ シンガポール 生徒 Warren Liow (ウォーレン・リャウ) さんより



マリーナ・ベイ・ファイナンシャル・センター

出身地の紹介：シンガポールは高度に発展した大都会で、中国系、マレー系、インド系など、様々な民族の人が暮らす多文化の国です。国土が狭く人口密度が高いため、どこへ行っても混雑しています。



和歌山で印象に残ったこと・出身地との違い：和歌山は、人々も、食べ物も、景観も素晴らしいところでした。なかでも最も魅力を感じたのは、和歌山の人々の日常の暮らしです。大変居心地がよく、皆さんがとてもフレンドリーで、住みやすいところだと思いました。和歌山はシンガポールと比べると都会ではなく、高層ビルや人、車も少ないので、狭苦しく感じることもなく快適に過ごせました。

メッセージ：今回の訪問で和歌山が大好きになりました。いつかまた和歌山を再訪したいと思います。和歌山の皆さんにもぜひシンガポールに来ていただきたいです。